



発行所：みんなで政治を考える会
〒615-0062 京都市右京区西院坤町2
ケイハンシテイビル601
TEL.075-315-2228 FAX.075-315-2310

発行人：二ノ湯 智
国会事務所
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館632号室
TEL.03-3508-8632 FAX.03-5512-2632

えとす(Ethos)とは、文化や習慣を意味し、豊かな精神をはぐくみ、平和を希望する言葉です。
題字：栢木寛照

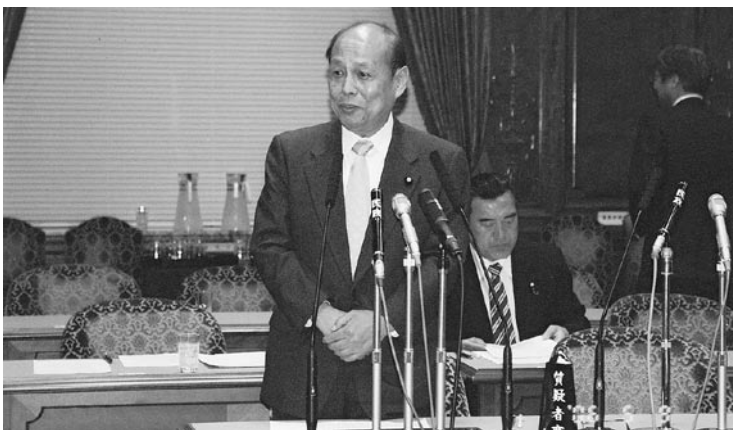
えとす

年間購読料 1,200円(一部100円)
第3種郵便物認可 平成2年1月18日
口座 01000-4-62360

平成18年 **5** 月号
No.180

京都の智恵を日本に活かす。
二ノ湯智ホームページ <http://www.ninoyusatoshi.com>

改革の総仕上げ、「行政改革関連5法案」



質問する二ノ湯議員

二ノ湯議員も特別委員会の委員に 連休明け、二度質問に立つ

小泉総理の在任期間が5年を超え、戦後3番目の長期政権となった。その間、小泉総理は「中央から地方へ」「民間にできることは民間に」という基本方針の下、様々な改革を進めてきた。

その総仕上げと位置付けられる、簡素で効率的な政府を実現するための行政改革の推進に関する5法案が、4月19日から、参議院で集中的に審議されている。

情報化や国際化の進展、少子高齢化社会の到来など、日本社会を取り巻く状況は著しく変わっている。その中で、戦後の奇跡的な経済復興を支えた、官主導の中央主権的な制度が機能しなくなってきた。また、国も地方も財政状況の悪化が深刻化している。

そこで、官の役割を徹底的に見直し、民間でできることは民間に委ねて、民間の活力・自主性・自立性を高め、豊かで安心できる社会を創ることが必要で、様々な制度を見直すことは喫緊の課題である。

具体的には、政策金融、特別会計、独立行政法人、公益法人、公務員総人件費、公務員数など、幅広い分野で制度を見直す。これが、今回の5法案の趣旨であり、まさに、国家の基本的なあり方を変える、非常に重要な法案である。

二ノ湯議員は、その重要な5法案を専門的に審議する、参議院の「行政改革に関する特別委員会」の委員に選任された。五月の連休明け、2度にわたり自民党を代表し、地方自治体の現場を知る者の視点で質問を行った。

(質問内容は2面に掲載)

恒心

メタボリック症候群(内臓脂肪症候群)なる言葉が、新聞の一面を飾った。その記事を見て、早速自分のお腹の周りを測った人も多いと思う。お腹の周囲

が、男性85cm、女性90cm以上で、血圧、血糖、血中脂肪の基準が2つ以上、上回っている人は危険信号だそうである。要は肥満は生活習慣病のもとで、短命につながるという。一方肥満は必ずしも短命につながるという説もある。おしっこがきれいだったら大丈夫、または、聴診器を当て、顔色を見てあなたは健康ですよという医者もいる。医学の知識のない一般庶民は戸惑うばかりである。先日国会で健康談義に花が咲いた。健康のバロメーターは快食、快眠、快便だと主張する人がいた。この意見には多くの人が賛同した。その中にも、お医者さんが居た。私が「先生、究極の健康法は何ですか」と尋ねると、「しっかりと睡眠をとることですよ。」と言われた。なるほど寝るほど楽はないと言っけれど、睡眠不足が続くと体がだるいし、体のあちこちに障害をもたらすのかも知れない。少し時間があれば、ゴロ寝をするのもいい。しかし、ゴロ寝するだけでは摂取したエネルギーを消費できず、完全な健康法ではないだろう。人間は体を動かさないといけない。私は適度な運動こそ、最高の健康法だと信じ、毎晩欠かさず、40〜50分は歩いている。メタボリック症候群という難しい言葉や血圧などの数値が気になれば、運動を始めることである。

行政改革
特別委員会

京都市会議員の経験を交えて質問

5月9日質問の要旨

参考人として出席した稲継裕昭(大阪市長立大学院法学研究科教授)、加藤秀樹(シンクタンク「構想日本」代表)、田中弥生(東京大学院助教授)に質問した。

☆二ノ湯議員:公務員給与は高い。現在の、年功序列的な賃金体系や特殊勤務手当を見直し、能力主義を導入し地域の民間企業の賃金水準を反映させる必要がある。しかし、公務員の仕事は評価しにくい。という評価システムを作るべきか?

稲継:人事評価は、確かに難しい。短期間で評価すると、皆が短期的な成果を得ようとバラバラに働いて失敗する。評価の期間をやや長期にし、昇進昇格の際に反映するというのが望ましい。そのために、等級の間に大きな賃金の差が必要だ。

☆二ノ湯:入省時に選抜し、20〜30人を出世を競わせる中央のシステムと、大卒を一括りにし、皆で出世を競わせる地方自治体のシステムと、どちらがいいか?

稲継:難しい。人材育成と職員のやる気をどう保つかの兼ね合いの問題だ。中央の役人は、1種・2種・3種で昇進の仕方はだいぶ違うが、給与はあまり変わらず、2、3種のやる気は維持できる。だから、等級をなくす必要はない。等級を無くし出世する保証がなくなれば、優秀

な人材がどれだけ集まるだろうか。

☆二ノ湯:ある事業を官がやるか民がやるか、官にしても国がやるか都道府県か市町村がやるかを再考する「事業仕分け」は大切だ。役所がする必要のない事業が見つかり、だいぶ経費が削減できる。削減される地方交付税分を補えるか?

加藤:どの自治体でも、市町村は7割に、都道府県は6割に業務が削減できるとの結果が出る。さらに事業単価を見直して7割できると分れば、7割×7割で経費は半減する。そんなに単純ではないが、大まかな目安にはなる。

☆二ノ湯:住民が一番近い自治体が納得する事業ができるのが一番いい。そうすれば、補助も裏負担もなくて済む。こういうシステムが必要だと思うが?

加藤:同感だ。国の規制が多い。細かいことは自由でいい。また、交付税の制度もそういう観点から見直すべきだ。

☆二ノ湯:公益法人の認定委員会の構成が重要だ。どうお考えか?また、国認定だけなく都道府県が認定するNPOに対する優遇措置も重要であると思うが?

田中:委員は、特定の利益を代表するのではない民間人が望ましい。行政経験者はだめ。また、NPOの寄付免税もなされるべきだと思う。地域を支える主体になるためには、まだまだ障害が多い。

5月12日質問の要旨

☆二ノ湯議員:「簡素で効率的な政府」によってどんな国家を創ろうとするのか、自治体や中小零細事業者の不安解消のためにも、具体的に示して欲しい。

中馬行革担当大臣:多くの規制を作り、中央集権でやって来た時代は終わった。今後は、官は企画立案・監督等に徹し、実施は民に任せる。それにより、官依存で官に責任転嫁する風潮を改め、民が自立でやっていく国を創る。

☆二ノ湯:公務員数削減では、数字ありきになっているが、まず官が担う業務の検討をすべきでないか?また、削減した後小さい自治体でも十分にサービスを維持できるか?

竹中総務大臣:各自治体に公務員削減の数値目標を提出させたら、現時点で5年で6.2%だった。心強い。事業や組織の見直しを図り、必要なサービスの低下がないように配慮して削減に努める。

☆二ノ湯:公務員純減で、地方経済は更に疲弊しかねないが、その中でどのように地域を活性化させるのか?

谷垣財務大臣:「官から民へ」の改革が進む中で、民も公を担う心意気を持ち、絆を強め、その地域の特徴を活かすように知恵を絞っていくしかない。

☆二ノ湯:高給と批判される地方公務員給与を見直すべきではないか?

竹中大臣:先頃、地方公務員給与に関する研究会から「地域の幅広い民間事業者に



二ノ湯議員の質問に答える
谷垣財務大臣

準じること、人事委員会の機能の強化、特殊勤務手当の適正化」が必要との答申を得た。参考に見直しを進めたい。

☆二ノ湯:地方公務員給与に能力主義を導入することは賛成だが、現場での折衝なども多い地方公務員の仕事の評価は難しい。どのように評価していくのか?

竹中大臣:能力主義の導入は重要だ。しかし、利益追求でない公務を公正に図るのは難しい。一部自治体の先進事例の紹介やアドバイザーの派遣など、国も支援する。

☆二ノ湯:地方自治体に公の施設を管理させる指定管理者制度が導入された。しかし、民間事業者が参入できる事業が少なく、指定管理者が出す赤字補填の問題も深刻になるだろう。

竹中大臣:民間事業者がどれだけ事業をとっているかを指標に、公正で透明な手続きを進めるべきだ。赤字は、責任において必要な負担をしてもらうが、協定も必要だ。事前に事業ができる能力があるか見極めるのも重要だ。

二ノ湯議員、総務委員会で質問



質問する二ノ湯議員

「住民基本台帳の二部改正」について

4月25日の総務委員会で、二ノ湯議員は、「住民基本台帳の一部改正に関する法律案」について質問した。

☆二ノ湯：現在、住民基本台帳は公開が原則だが、昨今、「ダイレクタメールが多い」等の苦情が多く、閲覧の悪用による事件も起きたため、見直したと思うが、改正の目的と新制度の概要を聞きたい。

竹中総務大臣：個人情報保護の意識の高まりを受けて、台帳の閲覧は原則禁止する。ただし、国・地方自治体の業務や公益性の高い学術調査・世論調査には、閲覧を認める。不正閲覧や目的外利用に対する罰則等も設ける。

☆二ノ湯：市町村が「公共的団体」による「公益性の高い活動」と認めれば、台帳の閲覧を認めるとするが、各市町村でその判断の基準が違っていると困る。国の基準は作らないのか？

高部総務省自治行政局長：「公益性の高い」世論調査とは、「結果が公表され、成果が社会に活かされる」とのつもりだ。「公共的団体」の一律の基準を示すのは難しい。

☆二ノ湯：個人情報保護に対する「過剰反応」がある。私の地元でも、町内会や少年野球チームの名簿が作れずに大変だ。ここでは、地域の人間関係が壊れ、子供を守る安心・安全な地域社会が壊れる。今まで国はどう対応してきたか？

中村内閣府大臣官房審議官：個人情報の利用を認める立場で内閣府は説明会・インターネット等で法の周知徹底を図り、各省庁も事業ごとにガイドラインを作った。

☆二ノ湯：「過剰反応」に対して、内閣府等が「個人情報保護の円滑な推進について」という申し合わせを行ったが、その概要と効果の見込みは？

中村：法を周知徹底する、個人情報保護法第三者に提供できる事例を示す、法解釈を明確にする、の3点が骨子で、省庁が連携して成果を上げたい。

☆二ノ湯：国勢調査では、調査員が戸別訪問するが、国民の意識変化もあり、調査がしづらく、辞める人もいる。国は、調査の仕方を見直しているが、その現状は？
衛藤総務省統計局長：都市部で調査が難航した。オートロックや共働きの増加、プライバシー意識の高まり等が原因だ。夏頃に基本方針を示せるよう、調査員の確保も含め検討している。

山田啓二京都府知事、自民党幹部に御礼

4月18日、山田啓二京都府知事は、地元選出の自民党議員に付き添われ、衆議院内の自民党総裁室を訪れ、武部幹事長はじめ党の幹部役員に、自民党の応援に対して御礼の言葉を述べた。

山田知事は、自民党・公明党・民主党・社民党の推薦を得ていたが、選挙事務所の運営など選挙戦の大部分は実質的に自民党が行っていた。また、投票率が非常に低くなる懸念されたため、中盤以降、他府県の自民党国会議員の応援も増え、最終日には、二階経済産業大臣や竹中総務大臣



御礼を述べる山田知事(右が二ノ湯議員)

らの大物も応援に駆けつけた。今後の京都府政は、地方交付税が削減される中で行財政改革を実行しなければならず大変厳しいが、山田知事の指導力が発揮され改革が進むことを期待したい。

出直し南丹市長選



万歳する佐々木稔納氏(右から二人目が二ノ湯議員)

佐々木稔納氏が大差で初当選

当選した佐々木氏は、大勢の支援者の前で、「なによりも先に、市民の市政に対する不安を取り除き、信頼を取り戻すべく、市民に開かれた市政を一九と目指して行きたい」と力強く決意を語った。

そして、乾杯の挨拶で二ノ湯参議院議員は、「佐々木氏とは、野中先生のもとで、一緒に政治を学んだ間柄で、感慨も一入である。今回の大差の勝利は、佐々木氏の実直な人柄と卓越した政治手腕に多くの市民が期待した結果」とエールを送った。

また、野中広務・元自民党幹事長は「保守分裂の大変厳しい戦いであったが、これからは町全体がひとつになって、新しい南丹市のため、取り組んで欲しい」と佐々木市政への支援を呼びかけた。

4月30日、前市長の辞職に伴う南丹市長選挙の投票が行われ、前回の選挙で、わずか17票差で涙を飲んだ旧園部町収入役の佐々木稔納氏が、旧園部町助役の奥村善晴氏、共産党推薦の井尻勇介氏を破り、前回の雪辱を果たした。

議員、二ノ湯、平成研究会に入会



入会の挨拶をする二ノ湯議員

4月20日、平成研究会の総会で、津島会長、陣内平成研参議院会長から「嬉しい知らせがある。京都市会議長、全国市議会議長会会長も務めた実力派議員が入会される」と、紹介を受けた。緊張した面持ちの二ノ湯議員だったが、「二ノ湯という名前ですが、実家は風呂屋ではありません。」と皆の笑いを誘う余裕も見せつつ、「戦後京都政界を代表する前尾、野中両先生にご指導を賜り、地方議員としてやらせて頂いた。浅学だが、皆さんのご指導を頂き、一生懸命頑張りたい」と力強く挨拶した。

平成研究会は、衆議院40名、参議院は35名、総勢75名で、清和政策研究会(森派)に次いで二番目に大きい派閥であるが、参議院では、自民党議員のほぼ3分の1を占め、とりわけ大きな力を持っている。

派閥は、国会議員にとって、政策などを含め様々なことを討議する、重要な情報交換の場となっている。二ノ湯議員には、派閥での活動も十分に活かして、今まで以上の活躍が期待される。

新政経懇話会・山城 首相官邸を表敬訪問

5月15日、新政経懇話会・山城(会長・山本博章)の15名が国会を訪れた。午前中、東京散策をした後、参議院内の議員食堂で二ノ湯・井澤両議員を囲んで昼食をとり、議事堂内を見学した。その後、首相官邸に鈴木政二官房副長官を表敬訪問し、第二名神建設促進の陳情書を手渡した。官邸に足を踏み入れる事は滅多に経験できないため皆一様に興奮した様子であった。夜は屋形船に乗り、隅田川の風情を堪能した。



国会議事堂前で記念写真
(前列中央：二ノ湯・井澤両議員)

身辺雑記

一、久しぶりの連休。私は三重県の小学校時代に大変世話になった恩師の墓参りをし、参議院議員になった報告をしてきた。

一、連休明けの週に、行政改革推進特別委員会が2回質問に立った。国政は間口が広いため、それなりに勉強しなければならず、結構疲れるものだ。

第158回

みんなで歩こう湯歩会(参加者60名)



北大路橋を背景に

一、親の子に対する愛と情の深さを思い知らされたのが、横田めぐみさんのお母さんである早紀江さん。何とかして北朝鮮に拉致された娘を救い出したいという執念がブッシュ大統領との異例の面会につながった。

一、情も愛もない鬼のような母親の典型が平塚市のアパートで子供3人を含む5人の遺体が見つかった事件で逮捕された岡本千鶴子容疑者。なぜ、子供を殺さなければならぬのか。全く理解できない。

一、千葉七区の補欠選挙で自民候補敗北。七区に縁もゆかりもない候補者、七区の選挙事情も分からない小泉チルドレンが応援に行つて、ワイワイガヤガヤでは、有権者の反発を買ってしまう。

一、海外で活躍する日本人のスポーツ選手は多い。その一人であるヤンキースの松井秀喜選手が思わぬ怪我。幸いに手術は成功したらしいが、早く雄姿を見せてもらいたい。

第159回

みんなで歩こう湯歩会

- ・日時：5月28日(日) 小雨決行
- ・出発時刻：午前8時30分(時間厳守)
- ・集合場所：JR山科駅
- ・コース：旧街道→山科六地藏→四ノ宮→一燈園→疏水沿い→毘沙門堂→疏水沿い→本圀寺→天智天皇山科陵→地下鉄御陵駅解散
- ・久しぶりに山科方面を訪ねます。風薫る季節、新緑の疏水沿いを散策してみませんか。心癒される至福のひとつです。初めての方もお気軽にご参加ください。
- ・代表世話人 北村好司郎 ☎075-313-8758
(当日)090-1140-4964

歩くことは
健康の基本

夏まつりのご案内

日時 8月1日(火) 16:00~21:00

場所 ホテルグランヴィア京都
(JR京都駅ビル内)
3階宴会場

お一人様 5,000円
(入場料、会場内ご利用券)

詳細につきましては、6月号「えとす」でご案内いたします

二ノ湯とし京都事務所
TEL 075-315-2228 FAX 075-315-2310

